COVER DESIGN ●こじまあきさき for BodyDouble inc.

9784575299717
1920079012003
ISBN978-4-575-29971-7
C0079 ¥1200E
双葉社
定価：本体1200円＋税

著者紹介

ドゥーガル・ディクソン
Dougal Dixon

1947年スコットランド生まれ。
セント・アンドリュース大学にて地質学を学ぶ。
出版社勤務を経て80年より
フリーのサイエンス・ライターとして活躍。
日本でも話題になった『アフターマン』をはじめ、
数多くの著書がある。

ジョン・アダムス
John Adams

自然史関係の人気テレビ番組を数多く手がける。
ディズニー向けに制作された
「Amazing Animals」などで受賞歴あり。

小川隆章
おがわたかあき

アフタヌーン四季賞でデビュー。
海洋生物漫画『[illegible]』で、
ネイチャー・コミックの旗手として好評を博す。

theFUTUREisWILD™

コミック版
フューチャー・イズ・ワイルド
驚異の進化を遂げた2億年後の生命世界
ドゥーガル・ディクソン
ジョン・アダムス
作画 小川隆章
双葉社

コミック版

フューチャー・イズ・ワイルド

驚異の進化を遂げた2億年後の生命世界

（原案：ダイヤモンド社刊「フューチャー・イズ・ワイルド ～驚異の進化を遂げた2億年後の生命世界～」）

ドゥーガル・ディクソン
ジョン・アダムス
作画
小川隆章

Copyright ©Takaaki Ogawa
Under license of THE FUTURE IS WILD®
Adapted from the book THE FUTURE IS WILD. Copyright© The Future is Wild® 2003,published in Japan by Diamond, Inc. arranged by Rights World Agency
The Future is Wild name and logs are registend trademarks of The Future is Wild Ltd.

コミック版
COMIC VERSION

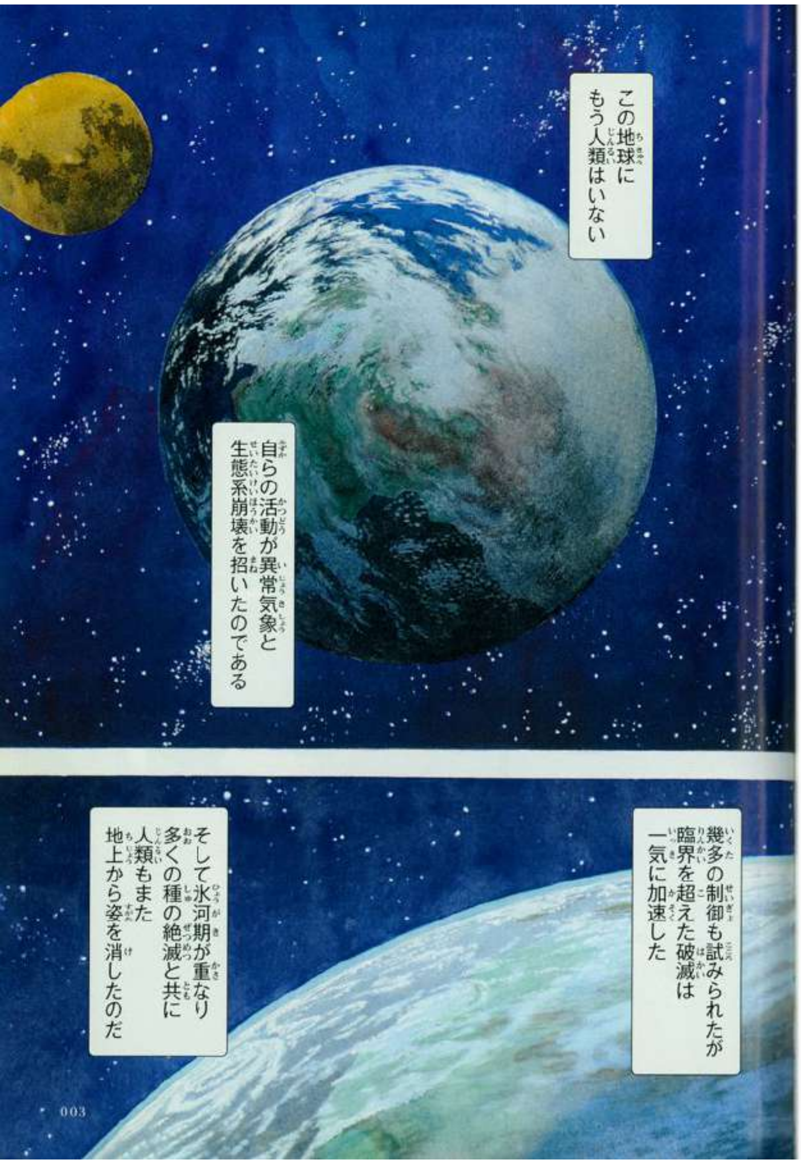
the FUTURE is WILD™
フューチャー・イズ・ワイルド

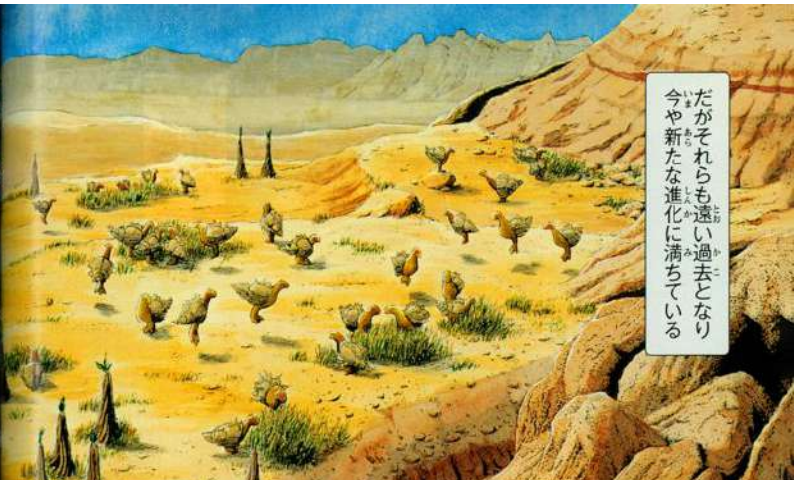
驚異の進化を遂げた2億年後の生命世界

(原案:ダイヤモンド社刊「フューチャー・イズ・ワイルド～驚異の進化を遂げた2億年後の生命世界～」)

ドゥーガル・ディクソン＆ジョン・アダムス
Dougal Dixon, and John Adams
作画
小川隆章
Takaaki Ogawa

双葉社


この地球に
もう人類はいない
自らの活動が異常気象と
生態系崩壊を招いたのである
幾多の制御も試みられたが
臨界を超えた破滅は
一気に加速した
そして氷河期が重なり
多くの種の絶滅と共に
人類もまた
地上から姿を消したのだ


だがそれらも遠い過去となり
今や新たな進化に満ちている

未知なる彼等の暮らしは
如何なるものなのだろうか

第一章

500万年後の世界

◆ごひゃくまんねんごのせかい◆

5 Million Years

目次

第一章
500万年後の世界
007

北ヨーロッパ氷原 011
アマゾン草原 037

第二章
1億年後の世界
063
◆だいにしょう いちおくねんごのせかい◆

ベンガル沼地 067
大浅海 095
グレートプラトー 121

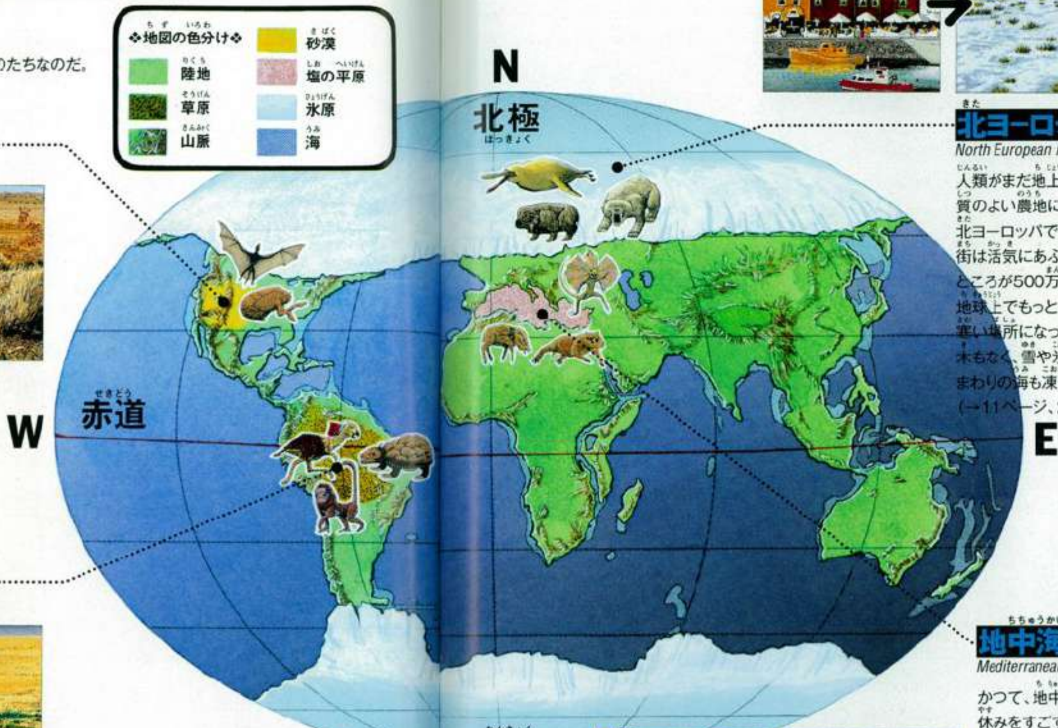
第三章
2億年後の世界
147

地球海 151
レインシャドー砂漠 183
北部森林 210

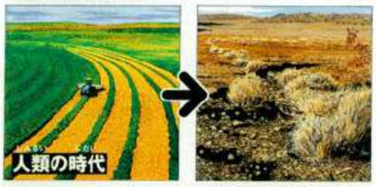
未来生物図鑑 241

500万年後の世界 *5 Million Years*

現代から500万年後の地球は、大氷河期時代に入っている。
人類が地上にいたころ、北極と南極を大きなドームの屋根のようにおおっていた氷は、
南北両方の極地から赤道の方向に向かってさらに大きく広がっている。
地球は冷たく乾いた星になり、たくさんの動物が絶滅していった（大量絶滅）。
わたしたち人類の姿も今はない。
500万年後の各地に暮らしている未来生物は、
こうした厳しい環境に適応し、生き残ってきたものたちなのだ。



北アメリカ砂漠
North American Desert



わたしたち人類の時代、
北アメリカはたくさんの作物がとれる、
肥えた豊かな土地だった。
しかし、畑が続く緑あふれる土地も、
500万年後の世界では、
乾燥した冷たい砂漠に変わりはてている。
(→245ページ)

アマゾン草原
Amazon Grassland

人類が生きていたころ、
アマゾン川を中心とする地域は暑くてジメジメした熱帯雨林だった。
しかし、500万年という長い時間がすぎるうちに、
たくさんあった背の高い木々は姿を消し、乾いた草原が広がっている。(→37ページ、244ページ)

北ヨーロッパ氷原
North European Ice

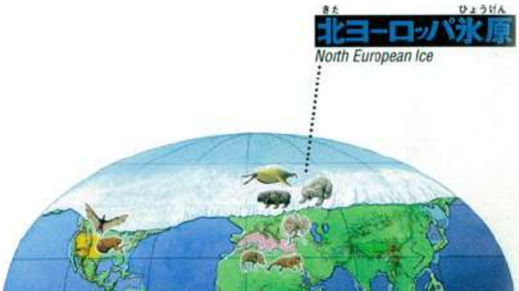
人類がまだ地上にいたころ、
質のよい農地にめぐまれた
北ヨーロッパでは、
街は活気にあふれていた。
ところが500万年後の北ヨーロッパは
地球上でもっとも
寒い場所になっている。
木もなく、雪や氷ばかりの荒地が続き、
まわりの海も凍りつくほど冷たい。
(→11ページ、242ページ)

地中海盆地
Mediterranean Basin

かつて、地中海の岸辺は、
休みをすごす人たちでにぎわう
リゾート地だった。
それから500万年たつあいだに、
地中海の水は
まったくなくなってしまった。
この一帯には、あたり一面、
塩だけが白く残っている。
(→243ページ)

北ヨーロッパ氷原
North European Ice

人類が消え去って
500万年後
地球は最大級の
氷河期を迎えている
ガネットホエール
gannetwhale

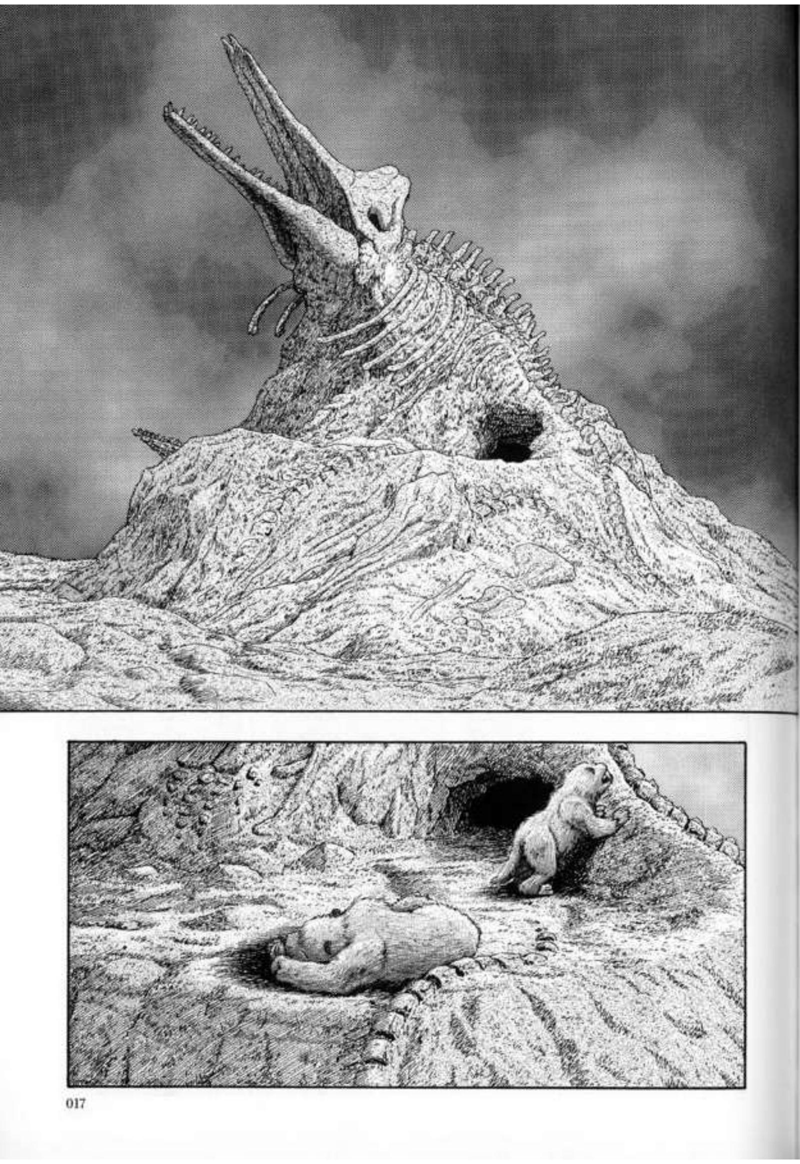

北ヨーロッパ氷原
North European Ice

500万年後の世界

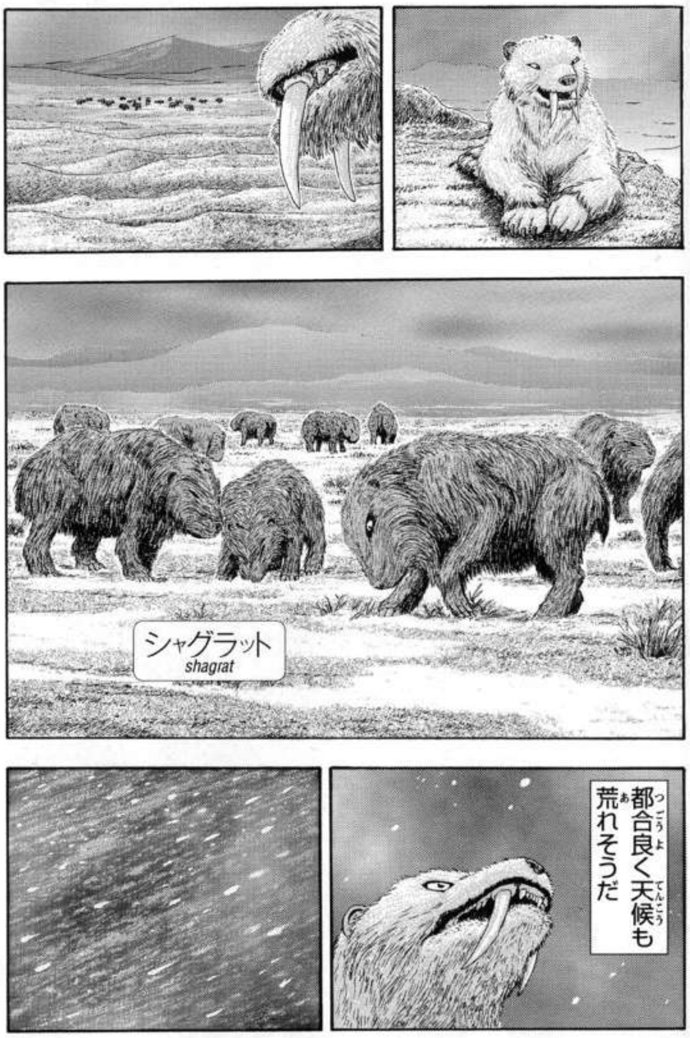
激しい変化は
多くの生命を滅ぼした
かつて極寒に分布した
ホッキョクグマや
アザラシはもういない
スノーストーカー
snowstalker

形態こそ似ているが
彼等は新たに進化
してきた生物だ
しかし
その基本は変わらない
生き 遺伝子を継ぐ事に
皆が懸命だ

…楽な獲物だったのに
後ろからのガネットホエールに
まるで気づかなかった
母親はこのところ
失敗が増えている



クズリの末裔である
スノーストーカーは
獲物の数が少ない為
群れず 個々が広大な
テリトリーを持つ
此の平原で最も強壮な
彼女の縄張りは
この巣から展望出来る
理想的な一帯だ
早く…
あの子に もっと
狩りを教えなければ…


シャグラット
shagrat
都合良く天候も
荒れそうだ

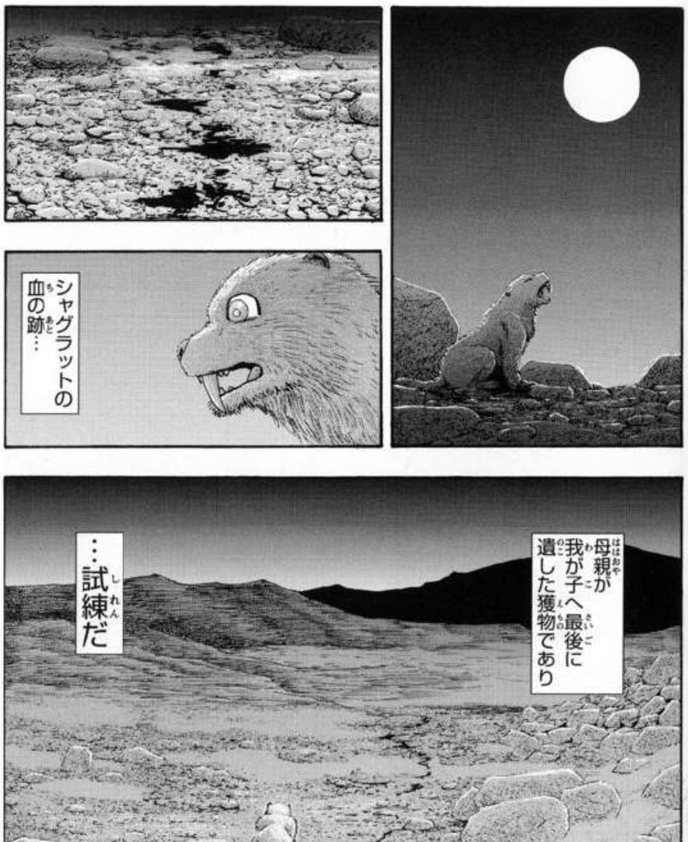
傷付いた獲物が衰弱して
倒れるまでその血を辿る
スノーストーカーが得意
とする狩りだ
しかし雪が
跡を消す時は休まず
追わなければならない

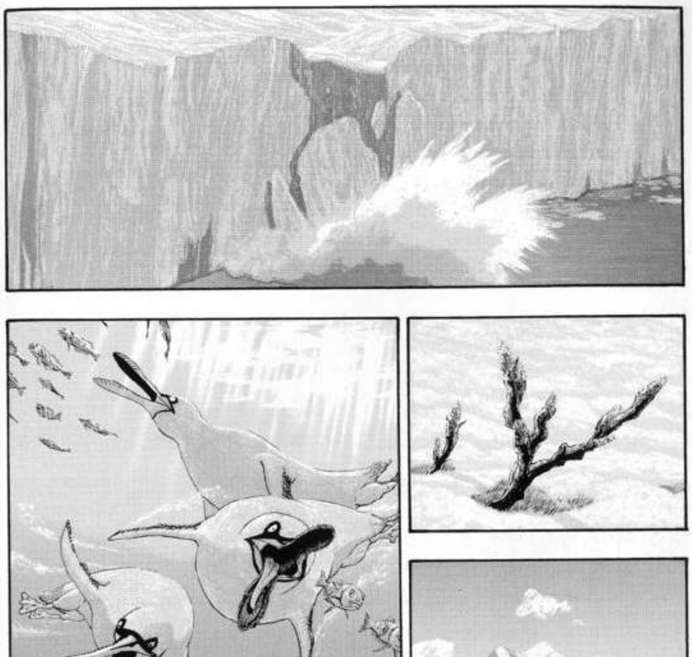
この怪我も以前なら容易く避けられたはずなのに…
…老いだ子を儲けたばかりなのに日増しに体力が萎えていく
厳しい気候では傷や衰えが加速度的に命を磨り減らす
獲物を得るには好都合だがスノーストーカー達も絶えず同じ危険に晒されているのである
彼女の衰えを見透かしたような大胆な縄張り侵害だ

この子は幼すぎる
どんな生きる術を
伝えれば良いのだ
まるで癒えない
このままでは半日も
すれば歩けなくなる…

彼女自身には
必要の無い過酷な
狩りであった

それは一瞬の出来事であった


シャグラットの血の跡…
母親が我が子へ最後に遺した獲物であり
…試練だ



北ヨーロッパ氷原 END